Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

ロータリーのマジック

Weekly Bulletin

The Magic of Rotary
ロータリーのマジック

国際ロータリー会長　ステファニー　A．アーチック

静岡ロータリークラブ　●例会日／毎週月曜日12:30～13:30　●例会場／グランディエール　ブケトーカイ　TEL.273-5225
●会長／川辺　哲　●副会長／児玉　俊明　●幹事／横山　泰久　●副幹事／川崎　裕司

２０２４－２０２５　３月１０日　第3730回例会

ゲスト卓話「多様化する不安とマジョリティ性の壁」

●ロータリーソング●

ソングリーダー
宮部　理香さん

●ゲスト紹介●

国立大学法人　静岡大学　**宇賀田　栄次さん**
米山奨学生　**ソリマン・ゼアドさん**

●会　長　挨　拶●

会長　**川辺　哲さん**

２週間、例会がありませんでしたが、その間、我々をとりまく世界では様々なことが起きています。まずはトランプ劇場です。ウクライナとロシアとの停戦を巡って、世界が揺れ動いています。それと国内問題では、私が気になって仕方がないのが、兵庫県の知事選挙にまつわるゴタゴタです。政治的な発言は避け

ますが、新聞、雑誌、テレビ等の既存マスメディアと、ＹｏｕＴｕｂｅやＳＮＳを使った個人のダイレクトメッセージが、同じ地平線で論争を始めたことです。どちらにも言い分があり、迂闊な判断は出来ませんが、注目しなければならないのはが、ＳＮＳが、旧来型の利権構造を白日の下にさらして壊し始めるだろうと感じております。これは日本中どこにでも起こりうる現象だと思います。但し、自分自身が、旧来の利権の保持者なのか？それとも破壊者の役割なのかさえも、はっきりしません。それくらい世界は混沌としてきたように感じております。この２週間、いくつかのロータリー関連のイベントがありました。まず、２月２２日に、グランシップで、ローターアクトの第５１回地区年次大会が、静岡ローターアクトがホスト役を務めて行われ、これからのローターアクトの活動のあり方について、熱心な討議が行われました。佐藤長巳委員長、御苦労様でした。プログラムの中の記念講演で、静岡に７～８店舗を展開している「ハグ・コーヒー」のマネージャーのお話を聞けました。スターバックスに対抗して、アメリカのポートランドで始まったと言われる「第３のコーヒー運動」の静岡版です。次に、３月２日に、２６２０地区第３グループの「インターシティ・ミーティング」が、小泉ガバナー出席のもと、開催されました。静岡ロータリークラブからは３０名弱のメンバーが参加しました。そのなかで、元日本プロサッカーリーグの第５代チェアマンを務め、現在、日本バドミントン協会の会長の村井満氏の「天日干しが会社を変える！社会を変える！」という記念講演がありました。村井氏は、当クラブの小川先生と浦和高校の同級生だそうです。それまでの経歴を通じて得た経営哲学が、一言で表すなら、「魚と組織は、天日にさらすと、日持ちが良くなる」です。「魚は、天日に晒すと、ダニがいなくなり、タンパク質が出来て美味くなるように、組織も、悪いところを隠すのではなく、公に晒すことで、様々な外部の力を得ることができ、健全化し発展する」という内容でした。そして、３月４日には、ゼアド君の壮行会を兼ねた新会員交流親睦委員会主催の懇親会が七間町のアルティアで開かれました。ゼアド君の今後の活躍を祝ったパーティー後、続けて行われたボーリング大会は、原田親睦委員長が優勝されたようです。以上、様々な行事があり、充実した２週間でした。関係者の皆様、御苦労様でした。本日、静岡倶楽部主催の「静岡市内小・中学校育成事業」の授与式があります。静岡ロータリークラブは、この事業に協賛して、優秀な成果を上げた子供さんにロータリークラブ賞を差し上げております。３月３１日の例会にて、受賞者の成果発表を行う予定でおります。来週は休例会ですが、皆様、エンジョイ・ロータリーで充実した２週間をお過ごしください。

●委 員 会 報 告●

雑誌委員会　**箕田委員長より**

・ロータリーの友　３月号の読みどころ
・３月は水と衛生月間。ＲＩ会長ステファニーＡアーチック様メッセージ
・水と衛生の中でトイレが使えないと題した特集記事。
・来季ＲＩ会長のブラジル、サントアンドレロータリークラブ、マリオ・セザール・マルティス・デ・カマルゴ氏の紹介記事
・元警官犯罪コメンテーター佐々木成三さまの財産と命を守る防犯マニュアル　など

会員増強委員会　**山田委員長より**

・２月末会員数が、１１０名前後。現状人数より、若干会員を増やす必要がある。
・会員候補者がいらっしゃれば、会員増強委員会まで連絡をお願いします。

●幹　事　報　告●

横山幹事

・本日、例会終了後に、５月１６日に開催予定の親睦旅行の説明会をこの会場で行います。
・ポール･ハリス･フェローの認証が、石塚さん、渡邉さんに届いています。
・また、同じく、ポール･ハリス･フェローのバッジが、川辺さん、川村さんに届いています。

●お め で と う●

【誕生日祝】

●月●●日　**志田裕美子さん**
●月●●日　**瀧上恵美子さん**
●月●●日　**渡邉孝雅さん**
●月●●日　**蒲池久司さん**
●月●●日　**小川潤さん**
●月●●日　**犬塚次郎さん**
●月●●日　**大石剛さん**
●月●●日　**山口良昌さん**

【結婚記念日】

●月●●日　**水上房吉さん・容子さん**
●月●●日　**粉川翔太郎さん・優子さん**
●月●●日　**寺西彰さん・由美さん**
●月●●日　**大須賀紳晃さん・昌代さん**
●月●●日　**杉浦哲さん・京子さん**
●月●●日　**松野正三さん・夕香さん**

●ス　マ　イ　ル●

志田洪顯さん

ちょっと良いことがあったので。大口でいただきました。

大窪諭さん

先週●日に第一子が生まれました。お祝いの気持ちとしてスマイルいたします。

杉山僚さん

３月２日に静岡第３ＧのＩＭが行われました。そちらの懇親会のじゃんけん大会でまさかの優勝をし、豪華景品まで頂いてしまいました。当日舞い上がってしまったため、西ロータリーの方々にもご挨拶できず反省しています。２６日にお礼とメーキャップをしに西ロータリーへお伺いしてこようと思っています。超大口でいただきました。

小野瀬雅久さん

きのう静岡マラソンが無事に開催されました。

道路規制などご不便をおかけした方も多かったと思いますが、ご協力いただいた方、皆さま、本当にありがとうございました。超大口でスマイルいただきました。

北澤哲也さん

●月●●日に●●歳の誕生日を迎えました。静岡マラソン２０２５も完走出来ましたのでこの一年も元気に過ごしたいと思っております。

牛島大介さん

誕生日のお祝いいただきました。有難うございました。健康第一でロータリーの例会はもちろん、筋ト例会もがんばります。

志田裕美子さん

誕生日のお祝いありがとうございました。アラフィフ！！がんばります。

瀧上恵美子さん

先日のゼアドくんの送別ボーリングで、準優勝しました。昨年末に手首を骨折し、おとなしくしていた５ケ月間取り戻そうと意気込んで参加してよかったです。又、チーム優勝もでき、メンバーのゼアドくん、番匠さん、原田さん、神谷さんに感謝です。

瀧上恵美子さん

また、お誕生日のお祝いをありがとうございました。今年は少しでも運気が上がっていくことを期待してポジティブ思考で過ごしたいと思います。ダブルでいただきました。

蒲地久司さん

●●歳になりました。健康に気をつけて静岡生活を楽しめたらと思います。

山口良昌さん

誕生日のお祝いありがとうございます。本日、●●才になりました。

水上房吉さん

きれいなお花ありがとうございました。妻の誕生日は忘れても●月●●日ゾロメは忘れません。家族で食事に行きました。

粉川翔太郎さん

結婚祝いありがとうございます。

寺西彰さん

結婚記念日のお花をいただきありがとうございました。お花がうちにあると幸せな時間が流れているように感じます。

杉浦哲さん

結婚記念日、花をありがとうございます。昨日まで、新婚旅行の地、富良野にスキーに一緒に行っておりました。ダブルで好評価です！！

松野正三さん

結婚記念日に素敵なお花有難うございました。●●周年となり色々と出費がかさんでおりますが●●周年、●●周年を迎えられるよう精進していきます。

塩原太一郎さん

当社スマートブルー主催の再生可能エネルギー

関連補助金に関するセミナーのご案内を入れさせていただきました。本日は私自身が例会参加できない中、ＰＲだけさせて頂いて大変申し訳ございません。ＷＥＢセミナーですので、気楽にご参加いただけますようよろしくお願いします。

満席スマイル

５番テーブル、１０番テーブル、１４番　北浦さんテーブル

●出　席　報　告●

時間の関係で、次回例会にて報告

●ゲ　ス　ト　卓　話●

国立大学法人　静岡大学　学生支援センター

宇賀田栄次様

「多様化する不安とマジョリティ性の壁」

企業における人材確保難の状況と、大学生における就職不安という、一見すると矛盾する状況を示すデータがあります。企業は人手不足に悩む一方で、学生は就職に対して大きな不安を抱えており、その不安の内容は、就職できるかどうかだけでなく、希望の職種に就けるか､自分が仕事を続けられるか､何に向いているのか、職場の雰囲気や人間関係など多岐にわたります。さらに、従業員の「心の病」や、転職を考えるきっかけにも見てみると、企業側からは見えにくい、学生や若手社員の心理的な壁が存在しているように考えられます。こうしたことに気付かされたきっかけとして、性的マイノリティ（ＬＧＢＴＱ）の学生が安心して利用できる店舗マップの製作プロジェクトがありました。このプロジェクトは、ＬＧＢＴＱの学生が、パートナーとの指輪作りや結婚式の二次会など、異性カップルにとっては当たり前の行為を行う際に、差別や偏見を恐れて問い合わせを躊躇したり、周囲の目を気にしたりする現状を改善するために、学生自身が主体的に取り組んだものです。この事例は、マイノリティ側の視点や不安を理解し、マジョリティ側の行動変容を促すことの重要性を示しています。「マジョリティ性の壁」という概念があり、これは、社会がマジョリティ（多数派）を中心に設計されているために、マイノリティ（少数派)が不利益を被る構造を指します。この壁は、マイノリティからは見えやすいものの、マジョリティからは見えにくく、その影響も過小評価されがちです。個人と組織の関係で、いま、組織が発信する情報（ビジョンや、技術的な優位性など）は、必ずしも個人には響いていない。個人は、自分がどんな仕事が出来るのかが大事であり、働きやすい環境、働き甲斐のある仕事に関心があり、こうした環境を組織が提供できるかどうかの方が大事だと考えています｡また、キャリア自律が組織コミットメントに与える影響は大きいため、学生は、主体的にキャリアを形成し、職業的な自己概念を明確にすること、そして、職場環境の変化に適応する能力を身につけることも大事です。そして、組織はそれらを提供することが、仕事への充実感や組織へのコミットメントを高める上で重要です｡従って、不安を抱える学生に対して、「やりたいことを見つけよう」「失敗してもいいから挑戦しよう」といったメッセージだけでは不十分であり、マイノリティ側の視点や不安を理解し、マジョリティ側の行動を促す必要があります。

Rotary
Club of Shizuoka